

# ラーニングテクノロジー開発室

## ニュースレター

### サイバーキャンパスに向けたキャンパスポータル構築

インターネットから情報を取り出そうとしたとき、最初、どうしますか？ まずはYahoo!やGoogleといったサイトにアクセスする方が多いのではないのでしょうか。Yahoo!やGoogleのように、総合窓口となるようなサイトを「ポータルサイト」と言います。

同様に、大学の総合窓口となるポータルサイトを「キャンパスポータル」と呼びます。キャンパスポータルでは、学生や教職員、あるいは卒業生や入学希望者が、キャンパスポータルに自分のIDでログインすることで、その立場に応じて、大学内の各種情報サービスを自在に利用できます。学内に分散している各種情報やウェブアプリケーションをキャンパスポータルに集約し、学生、教員向けに個別化したサービスを提供するわけです。

名古屋大学や熊本大学ではuPortalと呼ばれるキャンパスポータルシステムを導入し、CASと言う技術を用いて、コース管理システムWebCT、教務システム、CALL(コンピュータ支援言語学習)システム等の学内の情報システムを統合化しています。つまり、その大学のサービスを利用したい、情報を取り出したいと思ったら、迷わずキャンパスポータルにアクセスし、ユーザIDとパスワードによる認証を

一度してしまえば、個々のシステムを利用する際には認証をせずに、自在に行き来できます。

さらに、キャンパスポータルに「教育面」、「学術研究面」、「大学運営面」、「学生サービス面」の四つの視点から、学生や教職員が、オフキャンパスから大学に在ると同等なサービスを受けられる機能を整備することで、サイバーキャンパス(\*1)が構築できます。日本大学工学部のサイバーキャンパス(\*2)では、ビデオでサイバーキャンパスのイメージを紹介しています。サイバーキャンパスの整備によって、通学制と通信制をシームレスにするだけでなく、他大学、高等学校、企業との連携も容易に進めることができるようになります。大学間、高大連携を進めているサイバーキャンパスの例(\*3)もあります。

サイバーキャンパス整備に向けて、まずはキャンパスポータルの導入とIDの統合化によって、多様なサービスをユーザごとに個別化し、利便性を高めることが急務と言えるでしょう(渡辺博芳)

(\*1) [http://www.juce.jp/LINK/journal/0302/03\\_01.html](http://www.juce.jp/LINK/journal/0302/03_01.html)

(\*2) <http://cyber.ce.nihon-u.ac.jp/>

(\*3) <http://cyber.kake-group.jp/>

## NEWS

### ◆ WebCT CE6への移行に関する説明会

WebCTを最新のCE6にバージョンアップします。CE6ではインターフェースが大きく変わり、使い方も少し変わります。また、サーバ機自体が新しくなるので、みなさんでお引越することになります。このお引越しをスムーズに進めるために、15分程度の説明会を理工学部で開催いたします。WebCTのIDをお持ちの方は、ぜひご参加ください。

7/21(金)	13:30 ~ 13:45	1号館202教室
7/25(火)	12:45 ~ 13:00	1号館202教室

移行に関しては、LT開発室のウェブサイトで随時お知らせいたします。

### ◆ WebCT CE6 研修会

8月のLTセミナーは、WebCT CE6の教職員向け研修会を宇都宮キャンパスで開催します。WebCTユーザの方はもちろん、これからWebCTを使ってみようという方も、ぜひご参加ください。事前申し込みが必要になります。詳細は、ポスターやLT開発室のウェブサイトで、後日お知らせいたします。

### ◆ 第4回日本WebCTユーザカンファレンス

日本WebCTユーザ会主催「第4回日本WebCTユーザカンファレンス」が、2006年8月29～30日に京都コンピュータ学院にて開催されます。詳細は、日本WebCTユーザ会のサイト (<http://www.webct.jp/>) をご覧下さい。

### ◆ 私情協 大学教育・情報戦略大会

私立大学情報教育協会(私情協)主催による大学教育・情報戦略大会が2006年9月5日～7日にアルカディア市ヶ谷にて開催されます。詳細については、私情協のサイト (<http://www.juce.jp/>) でアナウンスされる予定です。

### ◆ IT活用教育のための研修・講習会情報

ITを活用したさまざまな教育方法に関する研修・講習会が、私情協およびメディア教育開発センター(NIME)のそれぞれの主催により開催されます。詳細は、以下のサイトをご覧下さい。

私情協：<http://www.juce.jp/>

NIME：[http://www.nime.ac.jp/KENSYU/all\\_list.html](http://www.nime.ac.jp/KENSYU/all_list.html)

## ○ 研修・講習会一覧

月日	研修・講習会名
8/7~9	私情協「授業情報技術講習会 (Webコンテンツコース)」
8/28~30	私情協「授業情報技術講習会 (e-ラーニング実践コース)」
7/21	NIME「学習者支援セミナー」
7/28	NIME「e-Learningセミナー」
8/2~4	NIME「コンテンツ制作ワークショップ」
8/7~9	NIME「素材作成ワークショップ」
9/1	NIME「eラーニングと情報セキュリティ」
9/8	NIME「eラーニングと個人情報保護」
9/15~16	NIME「リメディアル教育セミナー」
9/27	NIME「教育著作権セミナー」

## ◆ 平成18年度

## ◆ 全国大学IT活用教育方法研究発表会 報告

私情協主催による平成18年度全国大学IT活用教育方法研究発表会は2006年7月1日に開催され、全部で67件の発表と特別セミナー「IT活用教育のシナリオづくり」が行われました。本学からは古井貞隆教授と佐々木茂講師が発表を行いました。

## ◆ 情報処理学会第2回CMS研究会 報告

情報処理学会教育学習支援情報システム研究グループによる第2回CMS研究会は2006年5月19日に名古屋大学で開催されました。全部で76名の参加と12件の発表があり、本学からは渡辺博芳助教授が発表を行いました。

上記2件についての詳しい報告はLT開発室のウェブサイトをご覧ください。

## WebCT活用授業レポート

## 学生視点から見直した授業改善の試み

今回は、理工学部の滝澤武先生にお話をうかがいました。

**LT** 今期は、スポーツ関連の科目のデジタル教材をLTの学生アシスタントとともに作成されましたね。

**滝澤先生** 授業の場にビデオカメラを持ち込むことで、学生同士のコミュニケーションを促したいというアイデアを暖めていたんです。履修中の学生にたまたまLTの学生アシスタントがいて、いろいろ情報交換したことが一緒にコンテンツを作ることに発展しました。

**LT** どのような点を評価されておられますか。

**滝澤先生** コミュニケーションは、できれば対面が良いけれど、ラーニングテクノロジーはそれを補うことができるんじゃないかと思っています。教員と学生は週一回しか会う機会がないでしょう。先週の授業についての意見や質問を今週受け取ったとすると、それに対するフォローは来週になってしまう。そういった部分でメールなどを活用すると、すぐに反映できるという利点があると思いますね。

他には、WebCTのカレンダー機能に授業項目のメモを残して、データベースのように使っています。自宅からもアクセスできるからいいですよ。

一方、自宅にパソコンを持っていない学生にとっては、いつでもアクセスできる環境が大事だと思います。それから、まだWebCTをあまり使いこなせて

いない学生もいるんですよ。シラバスを全部WebCTに入れるとか、学生がもっと使うような工夫をしてはどうですか。

**LT** そうですね。1年生のうちに必修科目などで、WebCTをさらに活用していただければと考えています。

**滝澤先生** 今回、一緒に教材を作ってみて、これは教員にとって教材作成の負担が少なくてすむ方法だと思いました。それだけではなく、LTコンサルテーションを受けて、学生アシスタントから意見を出してもらったり、ディスカッションができました。学生の視点から授業を振り返ることができたことは、私自身にとって、大きな成果でした。このような作業に携わったことは、学生たちにとってもよい経験になったんじゃないでしょうか。

教員が共同で授業をしたり、ともに授業を見直すような機会が、もっとあるといいですね。

**LT** 授業をより良くしていく一つのポイントですね。どうもありがとうございました。

FD委員会共催の「6月の授業改善セミナー」には、滝澤先生から話題提供がありました。その模様は、LT開発室のWebページからご覧いただけます。

(理工学部内からのみアクセス可能です)

**編集後記** 暑い日が続き、毎日のように雨が降るようになってきました。そろそろ本格的に夕立の季節ですね。栃木は雷が多いですからPCが壊れやしないかと心配です。さて、最近では学生補助員(LTA)の数も増え、仕事はあるかと逆に聞かれるようになってきました。授業のアンケート集計など単純だけど時間がかかるような作業がございましたら、ぜひLTAをご活用ください。(及川)

ラーニングテクノロジー開発室連絡先 <http://www.LT-Lab.teikyo-u.ac.jp/>

宇都宮キャンパス本部棟2号館2F 202室 028-627-7243 (直通)

◇室員：武井 恵雄(室長)、渡辺 博芳、古川 文人、高井 久美子、及川 芳恵

◇一般的なお問合せ：LT-Staff@LT-Lab.teikyo-u.ac.jp

◇技術的なサポート：LT-Support@LT-Lab.teikyo-u.ac.jp

